

県民・事業者・行政が一体となって

トライアングル

第10号

兵庫県フロン回収・処理推進協議会
 広報紙
 1997.5.1発行
 編集発行 推進協議会事務局

平成8年度回収フロン破壊処理依頼量 4.4トンに！

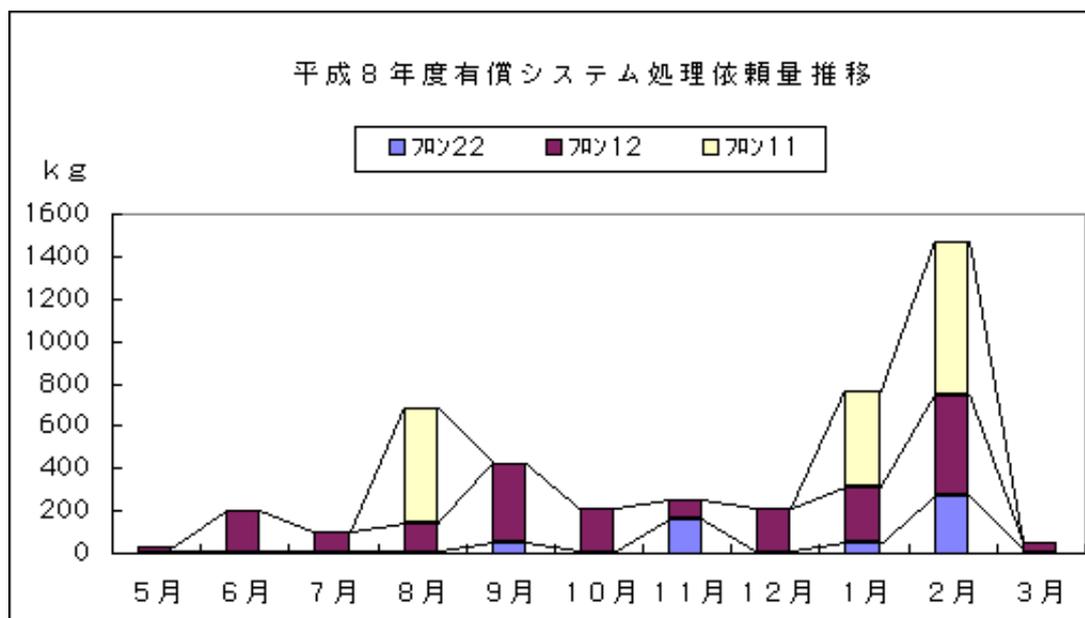
平成8年4月からスタートしましたフロン回収・処理システムは、会員の皆様方のご協力、ご支援により順調に稼働し、最終的に下表のとおり破壊処理依頼量となりました。

依頼のあった回収フロンは、10月に千葉県市川市（プラズマ法）に搬入し、2月以降は県内（ロータリーキルン法）にて破壊処理を行っています。

引き続き、平成9年度についてもよろしくお願ひします。

回収フロン破壊処理（有償分）依頼状況について （単位：kg）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
フロン22					54		159		54	268		535
フロン12	34	206	99	145	368	213	89	207	256	479	54	2150
フロン11				534					455	726		1716
合計	34	206	99	680	422	213	248	207	765	1474	54	4402



平成8年度被災地からのフロン回収が終了 合計2,144kgを回収しました！

平成7年度に引き続き、平成8年度についても環境事業団から財政的支援を受け、被災地域からのフロン回収を実施してきましたが、直接回収作業に当たっていただいた三菱電機ビルテクノサービス(株)および会員の方々のご協力により、大きな成果をおさめることができました。

マンションの解体現場での作業等、大変な重労働にがんばっていただいた三菱電機ビルテクノサービス(株)の皆様にあらためて感謝したいと思います。

回収されたフロンについては、千葉県市川市(プラズマ法)または県内(ロータリーキルン法)で破壊処理を行いました。

被災地フロン回収量 (平成8年4月～平成9年3月)

	フロン11	フロン12	フロン22	フロン502	その他	合計
被災回収	1,317 kg	54kg	752kg	21kg	0kg	2,144kg

回収現場別 依頼件数および回収量 (平成8年4月～平成9年3月)

	解体マンション	住宅・店舗	ビル・工場	合計
依頼件数	4件	14件	13件	31件
回収量(kg)	155kg	109kg	1,880kg	2,144kg

「阪神・淡路大震災 - 被災地域からの フロン回収 - その記録」の発行について

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災により被災した建物や機器等から大量に廃棄されるフロンについて、推進協議会では多くのボランティアや関係会員、兵庫県、環境事業団等、各方面からの支援を受けて回収事業を行ってきましたが、平成8年度末でこの事業は終了いたしました。

そこで、被災地域からのフロン回収事業で得られた貴重な経験やデータ等を多くの方々に伝えるべく、本事業についての記録集を発行いたしました。

平成8年度フロン回収状況実態把握調査の 結果がまとまりました！

当推進協議会では、兵庫県から委託を受けてカーエアコン、電気冷蔵庫、業務用冷凍空調機器等の関係事業者を対象に、平成7年7月～平成8年6月末の間のフロン回収状況についてアンケート調査を行いました。

その結果、回収量等につきましては、下表のとおりとなりました。

結果総括表（平成7年7月～平成8年6月末のフロン回収状況）

	業務用冷凍空調	電気冷蔵庫	カーエアコン	合計
回収量	24,006 kg	1,680 kg	22,103 kg	47,789 kg
保管量	9,522 kg	336 kg	28,937 kg	38,855 kg

（保管量は平成8年6月末時点での保管量です。）

これによると、平成8年6月末までの1年間の回収量は約48トンとなっており、県内推定廃棄量（230トン）の約20%が回収されていることが判明しました。

また、問題点として、カーエアコン等においては、依然として回収フロンは保管して再利用へ回すことがほとんどであり、一部ではストック量が十分なため回収意欲が低下している懸念があります。

今後は、代替フロン（オゾン層を破壊しないHFC）の割合が増加してくるため、特定フロンの再利用は、その需用が確実に低下しますので、回収したフロンはストックするより破壊処理へ回すことが重要となります。

条例規制に伴う立入検査が実施される フロン回収時の記録の徹底を！

我が国ではじめてフロン放出禁止規制を定めた「環境の保全と創造に関する条例」に基づき、県並びに各政令市では立入検査が実施されました。

その結果、特に重大な違反はなかったものの、フロン回収にあたっていくつかの問題点が指摘され、次の内容について兵庫県生活文化部環境局大気課長名で指導依頼がありましたので掲載します。

1. 特定物質の回収を実施した場合には、記録をつける等により排出防止基準の遵守状況を明確に把握すること。（排出防止基準 第4項）
2. 上記1を実施した結果、回収台数に比較して実際に回収できた量が少なすぎる等の異常がないか、点検し、異常が認められる場合には速やかに改善措置を講じること。
3. 自動車や冷蔵庫等の解体事業者が特定物質の回収を行わない場合には、事前に特定物質回収済みの物を処理すること。

《参考》 フロン回収時の記録様式（見本）

フロン回収状況記録帳簿（平成 年 月～平成 年 月）

月・日	機器の種類	フロンの有無	フロンの種類	台数	回収量(kg)	担当者	備考
(冷蔵庫等での記載例)							
7・1	冷蔵庫	フロンなし		4			ガスぬけ
	冷蔵庫	フロンあり	フロン12	10	1.0		
	自動販売機	フロンあり	フロン22	5	1.0		
(カーエアコンでの記載例)							
7・1	カーエアコン修理	フロンあり	フロン12	5	全量戻す		
	カーエアコン廃車	フロンあり	フロン12	3	1.5		
7・3	カーエアコン廃車	フロンあり	フロン12	3	1.5		保管量3.0

(補足) 回収量を計量するために、回収の前後にポンベの全体重量を秤量する必要があります。回収後のポンベ重量を秤量するときは、一定量以上ポンベに溜まってからポンベを装置から取り外し計量してください。

その際、事前に空ポンベの重量をポンベに書いておくか、次の要領で計算してください。

全体重量 - ポンベの刻印重量 (刻印wの数値 - 0.5kg (バルブの重量) = 回収フロン量 (kg)

回収用フロンポンベのリースを開始！

フロン回収に伴い回収用ポンベが不足する等の理由により、かねてから多数要望が寄せられていたポンベリース事業を4月1日から開始しております。

リースの内容

(1)リースする対象者

フロン回収事業を行う推進協議会の会員事業所であって、回収したフロンを推進協議会の処理システムを利用して破壊処理しようとする者に限り、リースいたします。

(2)リース期間

リース期間は原則として6か月以上1年未満とし、1年毎更新を妨げないものとし、ます。

(3)リース費用

ポンベのリース費用額は、容器再検査や保管等に要する費用から算定し下表のとおりとします。

リース料金について

	期 間	20kgポンベ	10kgポンベ
ポンベ1本の リース料金	1年間	3,700円 (消費税を含まない)	3,200円 (消費税を含まない)
	月 額 (6か月以上1年未満の場合)	350円 (消費税を含まない)	300円 (消費税を含まない)

(注1) リース料金にはリース先へ搬送する費用は含まれておりません。別途送料が必要
です。

(注2) 消費税が別途必要です。

リースできるボンベの種類(平成9年4月現在)

区 分	容 量	フロンの種類	備 考
一般型ボンベ (サイフォン付き、2口ボンベ)	20kg	フロン502	約200本(即リース可能)
	20kg	フロン12 フロン22	リース依頼があった後、ガス名変更等の 手続きを行いますので、リースまでに 少し日数がかかります。
中島自動車電装(株)製 回収装置の専用ボンベ	20kg	フロン12	6本(即リース可能)
	20kg	フロン12 フロン22	16本 5月上旬、入荷予定 10本

リースの申し込み方法

事務局まで問い合わせいただければ、リース申込書をFAX等でお送りしますので、そ
れに記入・押印の上、事務局まで郵送していただいた後、リースいたします。

オゾン層保護・地球温暖化防止NGO国際 フォーラム ご案内とご協力をお願い

本年12月に京都でCOP3「気候変動枠組み条約第3回締約国会合」が開催され、今後の地球環境
問題解決のため、世界中の行政機関、有識者が参集します。

それに向け、関西の地球環境問題及びオゾン層保護のNGO(非政府組織)が中心となり、神戸市に
おいて国際フォーラムを開催し、オゾン層保護、温暖化防止を中心とした地球環境問題を「神戸」から
「京都」へ向けて盛り上げていくため、平成8年12月実行委員会が設立されました。

実行委員会には当協議会もメンバーとして参加しています。

この国際フォーラムは、オゾン層破壊及び地球温暖化の原因物質である「フロン」について、その排
出防止、有効な対策措置を考え、全世界へアピールしていくため、海外の先進的なNGO、有識者を招
き、世界的視野でみたハイレベルの環境問題フォーラムを予定しています。

NGO活動における今後の地球環境問題の重要なステップとなるよう、実行委員会メンバーは精力的
に活動を続けておりますので、当フォーラムの趣旨にご賛同いただき、皆様方のご支援、ご協力をお願
いします。

《国際フォーラムの内容》

日時 1997年11月23日(日)、24日(月)
場所 神戸市中央区 西山記念会館(最寄駅:阪神春日野道駅)

内容

(第1日)

- ・基調講演 UNEP:アンダーセン博士(予定)
- ・ストップ・フロン国際NGO会議
参加NGO:日本、インド、イギリス、カナダ、スウェーデン

(第2日)

- ・特別講演 95年ノーベル化学賞受賞者 モリナー博士(交渉中)
- ・紫外線予防ファッションショー
- ・シンポジウム ポジコフ博士(WMO)(予定)、各国NGO
- ・ストップフロン戦略NGO神戸宣言の採択(COP3に向けて)

参加予定者

内外のNGO・市民、国・自治体、大学・研究機関、関係企業

《協賛、出展のご案内》

- ・協賛団体の募集 この取り組みにご賛同していただけるすべての団体

協賛金 1口50,000円
(協賛団体はプログラムに名称を掲載させていただきます。)

- ・出展の募集 会場ロビーにおいて、オゾン層保護、温暖化防止等に関する機器、技術、活動書籍などの出展を募集します。

1小間 (間口1.8m×奥行き0.9m) : 250,000円(消費税別)

協賛、出展についてのお問い合わせは

〒657 神戸市灘区山田町3-1-1 (財)神戸学生青年センター内
オゾン層保護・地球温暖化防止国際フォーラム実行委員会 事務局
(委員長 市橋 正光 神戸大学医学部教授)
TEL 078-851-2760
FAX 078-821-5878

トピックス

北極圏のオゾン層減少、過去最大に！

4月4日気象庁オゾン層情報センターが発表したところによると、かねてから心配されていた北極圏の3月のオゾン量が平年より30%以上減少し、過去最大になったことが明らかになりました。

これは地球観測衛星「みどり」の観測データから判明したもので、原因として、今年は氷点下78度を下回る低温域である「極成層圏」雲が安定的に生成し、この状態が3月に入っても継続したため、オゾン層が破壊される条件が強くなったものと説明されています。

今後、オゾンの少ない空気の塊の一部が南下すると予想され、一時的に日本上空でもオゾン層の減少が観測される可能性があります。

直接的な原因が、北極圏での渦流の変動にあるとしても、間接的には大気中へ放出されたフロンの影響があることは明らかであり、今後は南極圏のみならず、北極を中心とする北半球でもオゾン層の減少が身近な問題として懸念される事態となってきました。

兵庫県のフロン回収がニュースステーションで放映される！

ご覧になった方も多いと思いますが、3月18日(火)にテレビ朝日「ニュースステーション」の特集コーナーにおいて、東京でフロン回収専門事業者として活躍されている宇津木さんとともに、兵庫県のフロン回収への取り組み状況が全国へ放映されました。

放映に当たり、電気冷蔵庫では(有)鈴木商店さん(神戸市中央区)、カーエアコンでは西木産業(株)さん(神戸市東灘区)、及び回収フロン管理センターの河合さんにご協力をいただきました。

なお、兵庫県のフロン回収の取り組みへのTV取材は、この2年間でNHK2回、日本テレビ1回、テレビ大阪1回の計4回ありましたが、全国放送は今回がはじめてであり、放映後、遠方の方々から問い合わせがありました。

「フロン回収には金がかかるけれども、国はへんなことに金を使わず、こういうことに金を使えないのか」という、久米キャスターのコメントが印象的でした。

なお、上記のTV放映についてはすべてビデオ収録しておりますので、特にご希望があればお貸しすることは可能です。

伊藤鋼業（株）が県エコビジネス振興賞を受賞！

環境問題への取り組みが顕著な事業所を表彰する「兵庫県エコビジネス振興賞」に、廃棄冷蔵庫等からのフロン回収を先導的に実施したとして、当協議会の会員である伊藤鋼業（株）（尼崎市）が選ばれました。

同賞は、環境保全や省資源に貢献する独創的な事業について、総合的に評価し選定されるもので、今回は同社をはじめ他の分野を含めた4社が受賞しました。

同社は、当協議会の会員として、平成8年4月から廃棄冷蔵庫、自動販売機等からのフロン回収に着手し、平成8年12月末までにフロン回収量は約760kgに達しており、廃棄冷蔵庫等からのフロン回収分野における民間事業者としては、我が国で最も進んでいる事業者と推測されます。

今回の受賞に拍手を送り、今後ともフロン回収に先導的な役割を果たしていただきますようお願いしたいと思います。

兵庫県フロン回収・処理推進協議会

平成9年度通常総会開催のお知らせ

風薫る季節となってまいりましたが、当推進協議会も4年目を迎え平成9年度の通常総会を次のとおり開催いたしますので、会員各位におかれましては多数のご出席を賜りますようご案内申し上げます。なお、詳細につきましては後日、案内状を送付させていただきます。

日時 平成9年6月24日（火） 13:30～16:00

場所 神戸市教育会館 6階ホール
（JR元町駅山側、県庁東方）

議 事（13:30～14:30）

特別講演（14:40～16:00）

「オゾン層破壊の現状について（仮題）」
名古屋大学 太陽地球環境研究所
岩坂 泰信 教授

岩坂先生は、日本を代表する成層圏大気研究者であり、83年には南極越冬隊として極地成層圏の観測に従事され、85年のファーマン（イギリス）によるオゾンホール発見についても同じ研究者として関わってこられました。

世界中に大衝撃を与えたオゾンホール発見についての詳しい事情や、今後のオゾン層がどうなっていくのかについて、ご講演をいただきます。

事務局だより

このたび兵庫県環境局では、4月1日付けをもって、次のとおり人事異動がありました。

環境局長	(旧)安部栄治	(新)前田啓一郎	
環境局次長		(新)小林悦夫	
大気課長	(旧)小林悦夫	(新)中嶋國勝	
大気課副課長	大住裕彦	住裕彦	(変更なし)
同	岩本文哉	岩本文哉	(変更なし)
大気課課長補佐兼指導係長	(旧)菊井順一郎	(新)矢内健太	
大気課指導係員	弘中達夫	弘中達夫	(変更なし)
	(旧)河上健二	(新)前田健壽	(変更なし)
		小嶋壽明	

旧メンバーにおきましては、会員の皆様方には大変ご協力、ご支援をいただき厚く御礼申し上げますとともに、新メンバーについても今後ともよろしく願います。

兵庫県フロン回収・処理推進協議会

〒650 神戸市中央区下山手通5-10-1 (兵庫県生活文化部環境局大気課内)
TEL (078) 362-3284 FAX (078) 362-3966